

ICT 機器整備状況 ~子供たち一人一人に楽しく理解しやすい環境整備~

授業支援ツール

- Google Workspace (旧 G-suite) Classroom, Jamboard, フォーム等
学習用の基本的ツールと機能
- WinBird
端末の画面をロック・転送・比較
持ち帰り時の管理も可能
- まなびポケット
BANSHOT(板書をデジタル記録)
eboard(授業映像・教材の共有)
- ミライシード(ドリルパーク)
基礎基本の定着に活用
個別学習ドリル
小:国,算,理,社/中:国,数,理,社,英

デジタル教科書

- 学習者用デジタル教科書
小5・6年生 (各校1教科)
中全学年 (各校1教科)
- 指導者用デジタル教科書
(クラウド教材)
教科書と連携
グラフや写真・図式等のコンテンツ活用
- ★対象
小学校 (国・算)
中学校 (全教科)

通信環境の維持管理

- 学習用インターネット使用料
1Gbps (ギランティ方式)
- 可搬型通信機器回線使用料
持ち帰り対応の通信への補完



家庭連絡ツール

- すぐーる
学校と家庭をつなぐ連絡ツール
専用アプリで送受信
メッセージ配信が可能

安心安全の確保

- Net モラル
デジタルシティズンシップの学習
発達段階に合わせ内容を選択
- セキュリティソフト (5 月末稼働予定)
持ち帰り・郊外利用時のウイルス対策
家庭利用の時間制限
- 授業目的公衆送信補償制度
著作権への対応
授業での ICT 活用時の許諾
著作権者等へ教委から一括払い

ICT 巡回相談員 (6月開始予定)

★コーディネーター業務

- 訪問スケジュール調整
- 巡回相談員の育成

連携

★現地定期巡回業務

- 利活用サポート
- 校内研修会実施

セキュリティに関する方針

- 三原市教育情報セキュリティポリシー策定
小中学校のセキュリティに関する基本方針
- セキュリティに関する規程
各校におけるセキュリティに関する規程

クローム (情報端末) が動かないなあ...
ネットが繋がらないなあ...
どうやって授業で活用したらいいのだろう?

端末の維持管理

教育 ICT ヘルプデスク

電話

- ・故障受付
- ・利用方法ご案内
- ・保守派遣連絡

駆けつけ対応

- ・オンサイト保守
- ・故障物品
- ・ベンダー対応

みはら GIGA レボリューション ～ 学ぶ楽しみ 知る喜び ワクワク感が止まらない ～

令和3年4月1日作成(5月25日時点修正)

子ども同士がつながる
教師と子どもがつながる
世界とつながる
学校と家庭がつながる
学校と地域がつながる
情報がつながる
校内職員同士がつながる
校外の職員とつながる

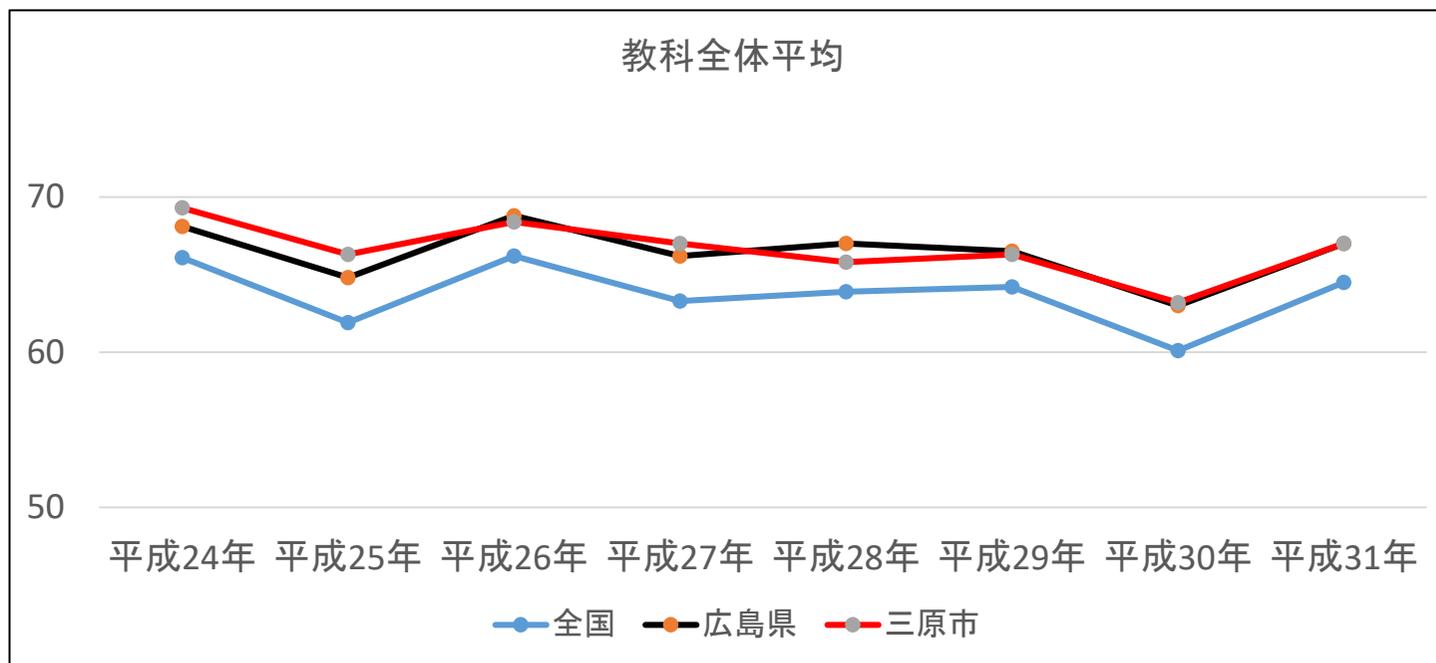
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事等 ツール		始業式 入学式 給食開始 参観日 PTA総会	運動会(小) 運動会(中)	大雨等臨時休業対応	懇談会 終業式 夏季休業開始	夏季休業	始業式 修学旅行(小)	公開研究会 (ICTの活用)	道徳参観日 (ICTの活用) 学習発表会(小) 文化祭(中)	終業式 懇談会 入試事務開始 (中)	始業式 入試関係(中) 修学旅行(中)	入試関係(中) 入学説明会	入試関係(中) 卒業式 終業式 離任式
学習系	Classroom	資料提示											
	ドキュメント	文書作成											
	スプレッドシート	表・グラフ作成											
	スライド	表現、交流											
	Jambord	ホワイトボード、意見交流											
	フォーム	データの収集、アンケート											
	スキャナ	全職員共有ドライブ											
	meet	ビデオ会議											
	ミライシード(ドリルパーク)	ドリル											
	学びポケット(BOARD)	授業動画、ドリル											
デジタル教科書(学習者用) 各校・教科	教科書	教科書会社から到着	児童生徒アカウント 等を発行し使用開始	5月14日までに教科 書会社から到着									
デジタル教科書(指導者用) 小・国算・中・国社数理	教科書	5月14日までに教科 書会社から到着	使用開始	毎日の授業で効果的に活用									
Net モラル	デジタルシミュレーション育成	活用開始	家庭の通信 環境把握	LTE 1305台	健康面への 配慮	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	子供が自分の成長をICTを活用して表現する	
管理系	Winbird	児童生徒 画面管理	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	セキュリティソフト	ウイルス対策	5/28~ウェブフィルタリング	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	授業目的の公衆送信権利保護	著作権	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	メール配信	メール送信開始 全校開始	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	学校だより等送信	ファイル添付送信全校	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	欠席連絡	欠席連絡全校開始	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
校務系	健康観察	健康チェックは必要に応じて	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	学校給食関係	ファイル添付送信全校開始(献立)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	イントラネット内メール	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	掲示板	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	お知らせ	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	アンケート	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	スケジュール	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	文書回覧	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	学校日誌	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
	出退勤管理	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証
名簿管理	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	
成績管理	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	
指導要録	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	
健康診断	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	
保健室記録	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	
ユーザー管理	運用開始(令和2年度運用開始のものもあり)	活用開始	保護者宛 メール配信	運用状況の 情報収集	緊急性の高い 帳票を改修	実態把握	各校の要望を 集約	令和4年度に 向けた改修	ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を実践	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	管理職研修での活用状況確認 →検証	

すべての教職員が授業にICT機器を効果的に活用する

指導主事 月1回ブロック訪問での状況把握

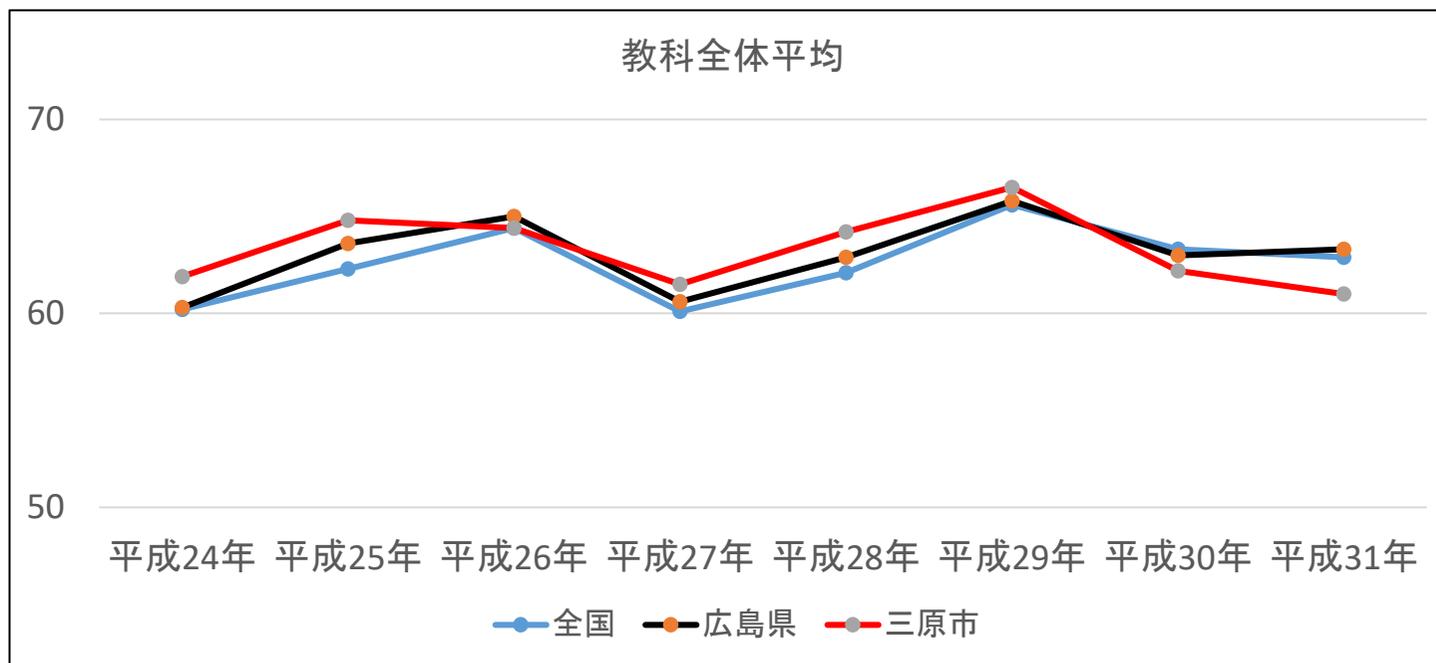
全国学力学習状況調査結果の推移 小学校 教科全体平均

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
全国	66.1	61.9	66.2	63.3	63.9	64.2	60.1	64.5
広島県	68.1	64.8	68.8	66.2	67	66.5	63	67
三原市	69.3	66.3	68.4	67	65.8	66.3	63.2	67



全国学力学習状況調査結果の推移 中学校 教科全体平均

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
全国	60.2	62.3	64.4	60.1	62.1	65.6	63.3	62.9
広島県	60.3	63.6	65	60.6	62.9	65.8	63	63.3
三原市	61.9	64.8	64.4	61.5	64.2	66.5	62.2	61



令和3年度 三原市ミッションの実現に向けた主な施策について



三原市ミッション

志を抱き、その実現に向けて考え、行動できる未来の創り手の育成

(中) 社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成
 (小) 自分を愛し、夢を語る児童の育成
 (幼) 生きている喜びを体現する園児の育成

社会に開かれた教育課程(国)

未来社会を切り拓くための資質・能力を、社会と共有・連携して育てる

確かな学力

【目標値】
 学力調査における全国平均に対する市内平均の割合
 小 110%
 中 110%

豊かな心

【目標値】
 質問紙調査「地域や社会をよくするために何をすべきか考えている」割合
 小 70%
 中 60%

健やかな体

【目標値】
 体力・運動能力調査の市内平均が全国を上回る種目の割合
 小 80%
 中 80%

○: 特に関連の深い資質・能力
 (各学校や各グループ等で重視する資質・能力を設定することも可)

◇: 県費教員加配措置あり
 ■: 事業予算と人件費予算あり
 □: 事業実施の人件費のみ

区分	事業名	学習の基盤となる資質・能力			指定校 (全体★)	加配	予算	
		言語能力	情報活用能力	問題発見・解決能力				
国の事業	学びの保障・充実のための学習者デジタル教科書実証事業		○		★	—	■	
	探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業			○	二中ブロック	◇	□	
	小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業	○			田野浦小	◇	□	
	小学校外国語推進事業	○			西小	◇	□	
	中学校英語におけるICTを活用した言語活動充実プロジェクト	○			久井中	—	□	
	中学校英語授業の効果的な指導方法(5ラウンドシステム)等に関する実践的研究	○			本郷中	—	□	
	小学校教科担任制推進事業	—	—	—	中之町小	◇	□	
	指導方法工夫改善事業	○			西小、二中	◇	□	
	中学校教科教育推進事業		グループで検討		新年度調整	—	□	
	理科教育設備整備事業			○	★	—	■	
市の事業	学力分析事業(指導力向上研修を含む)		各校で検討		★	—	■	
	教育研究推進事業(授業改善の推進)				★	—	■	
	ICT環境整備・活用事業(ICT機器活用研修を含む)		○		★	—	■	
	初任者研修	—	—	—	★	—	□	
	ネクストステージ研修	—	—	—	★	—	□	
	「学びの革新」推進協議会	—	—	—	★	—	□	
	特別支援教育研修	—	—	—	★	—	□	
	図書館司書研修	—	—	—	★	—	□	
	県の事業	道徳教育推進拠点地域事業			○	四中ブロック	◇	■
		キャリア教育の充実を中核としたカリキュラム開発事業			○	大和中ブロック	◇	□
不登校スペシャルサポートルーム推進校		○			沼田東小、宮浦中、久井中	◇	□	
生徒指導サポート実践校		○			田野浦小、南小、三中	◇	□	
市の事業	一校一貢献			○	★	—	■	
	三原元気ウィーク			○	★	—	□	
	生徒指導主事等連絡協議会	—	—	—	★	—	□	
	道徳教育推進協議会	—	—	—	★	—	□	
県の事業	部活動指導員配置促進事業			○	★	◇	■	
	「体育に関する指導」の推進事業			○	★	—	□	
市の事業	小学校陸上記録会			○	★	—	■	
	部活動大会参加交通費補助事業			○	★	—	■	
	三原市中学校体育連盟補助事業			○	★	—	■	

学校における働き方改革(抜粋)

- 勤務時間管理の徹底と勤務時間・健康管理を意識した働き方の促進
- 業務の明確化・適正化・環境整備
- 学校の組織運営体制の在り方

- リモート型研修・部活動の改革・心の健康の維持・定時退校日
- 共有化・ICT化・授業時数最適化・教材指導案の精選
- コミュニティスクール(学校運営協議会・地域学校協働本部)・学校マネジメント

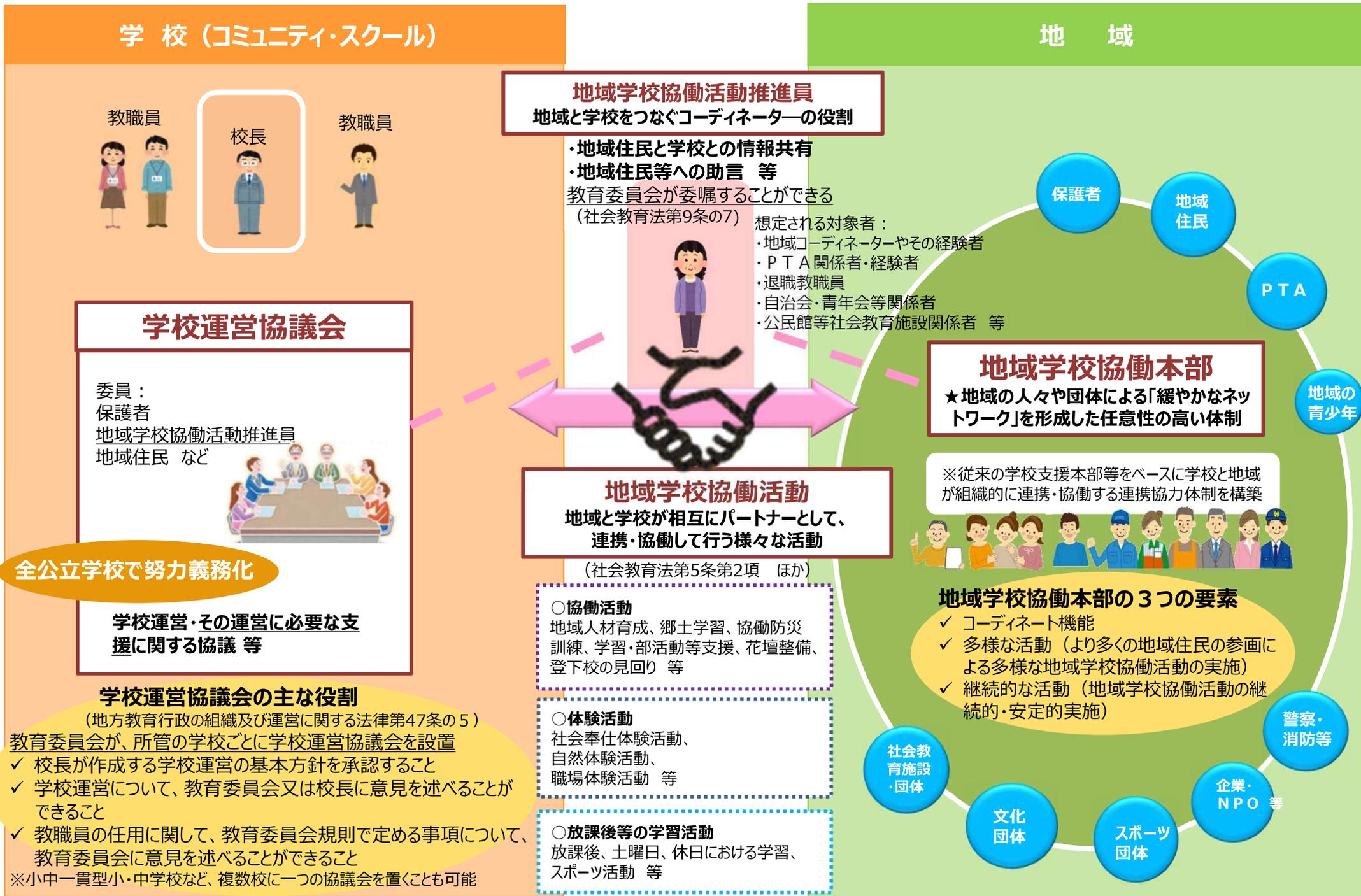
子供たち一人一人に楽しく理解しやすい環境整備

ICT機器の活用

指導者用端末, 学習者用端末, デジタル教科書, 大型提示装置

多様な学びの場の提供

通常学級, 特別支援学級, 通級指導教室, 学校ふれあい教室, SSR, 三原ふれあい教室(教育支援センター)等



令和4年度学校運営協議会・地域学校協働本部導入までのスケジュール(案)

担当	項目	5月まで	6月	7月～8月	9月・10月					11月・12月					1月・2月					3月中旬まで					3下旬～4月					
					1週	2週	3週	4週	5週	1週	2週	3週	4週	5週	1週	2週	3週	4週	5週	1週	2週	3週	4週	5週	1週	2週	3週	4週	5週	
学校教育課	委員会事務局内	○教育委員会会議 ○方向性・ビジョンの確立	○運営協議会の方向性の確立 ・運営協議会の目的・機能、人数、任期、報酬(案)の決定 ・導入推進計画 ・生涯学習課との連携	○リーダー校の決定	○担当指導主事による訪問指導・相談																									
	学校の管理職への研修										○リーダー校への準備についての研修																			
	教育委員会規則の制定										○規則(案)作成																			
	委員報酬										○議案作成 ○議案協議 総務課 相談・審査 ○市長、副市長議案ヒアリング ○厚生文教委員会での行政説明																			
	保護者・地域への周知																													
学校運営協議会	共通目標の設定										○学校と地域の共通目標の設定																			
	推進体制組織づくり										○学校運営協議会準備委員会の立ち上げ																			
	委員の選定										○委員の選定準備																			
	教職員										○教職員への周知と研修 (1)目的の周知 (2)校務分掌、行事との関連づけ (3)コミュニティ・スクールに関する研修																			
	保護者																													
	地域																													
	教職員																													
	活動団体																													
	推進員の選定																													
生涯学習課	委員会事務局内	○教育委員会会議 ○情報収集 ○導入方針等の検討	○協働本部導入の方針等の決定 ・導入の目的 ・導入手順(導入計画) ・必要書類(規約等) ・活動内容(本部として)	○リーダー校の決定及び導入説明							○協働本部導入に向けた相談等																			
	学校への依頼	○活動団体の実態調査依頼(事前調査)		○リーダー校への導入説明案内																										

学校運営協議会

地域学校協働本部

導入

新学校体制での体制づく

学校運営協議会

学校運営協議会 地域学校協働本部

地域学校協働本部

学校教育課

リーダー校

生涯学習課

I C T 交流(933 少年少女海外研修・交流事業)(+935 親善都市交流推進事業)



事業費 3,709 千円

これまでの交流の積み重ねを土台に、これからの時代に即した交流で世界をより身近に
～ 新たに I C T を活用したオンライン交流を実施 ～

■ 事業日程

4 月～5 月 参加メンバー生徒募集

6 月～8 月 オンライン交流 (主な事業)

【チャレンジⅠ～Ready～】

6/19(土) シンガポール歴史講義

7/3 (土) やっさ踊り・プレゼン練習

【チャレンジⅡ～Go!～】

7/22(木) 自己紹介

7/29(木) ゲーム, フリートーク

8/5 (木) プレゼン, カルチャー体験

※下線は、ベティ中学校とオンラインで交流する事業

G I G A スクールで整備した I C T 端末を活用

- ・メンバーとの緊密な情報連携
- ・メンバーの I C T 能力の発揮
- ・時と場所を超えた異文化交流

が可能!



関連事業) 親善都市交流推進事業

神奈川県湯河原町との小学校5・6年生児童による交流

7～8月 オンラインによる交流会(全4回)を計画

⇒G I G A スクールで整備した I C T 端末を活用



シンガポール ベティ中学校との異文化交流をさらに充実した事業に



文化財保存活用地域計画策定事業（4120 記念物保存活用事業）

課題解決
のための手法

- 市の未指定を含めた文化財を総合的に把握
- 外部意見の盛り込み
- 客観的な優先性や重要性を考慮した長期的なアクションプランが必要

三原市の文化財行政の
大きな課題

文化財の全体的な
把握ができていない

○活用の方針

◇公開手法の選択

(デジタル・レプリカ・実物)

◇公開の促進

◇文化財活用拠点施設

○保存の優先順位

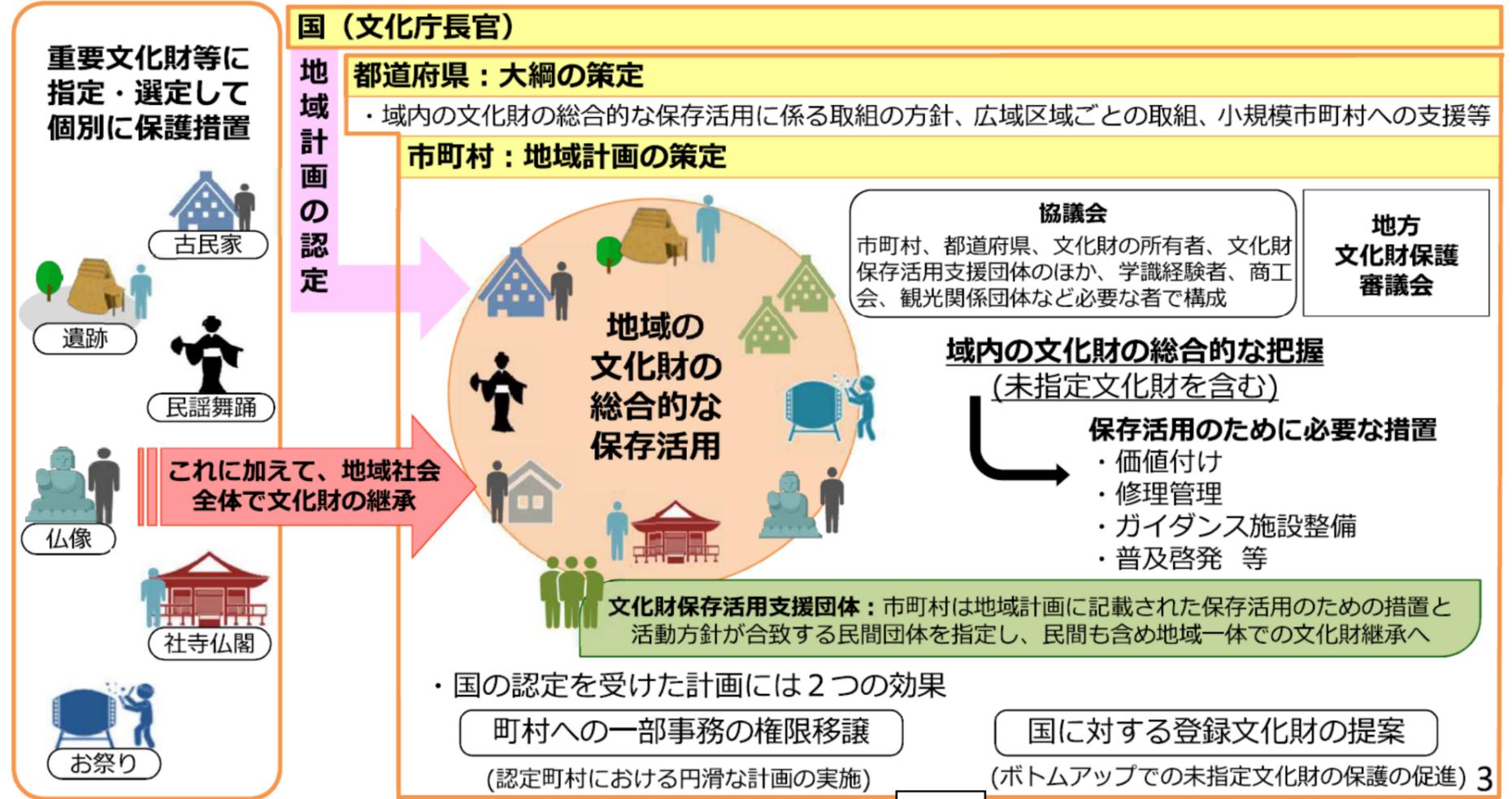
◇既存の事業

◇政策説明

◇指定文化財

改正文化財保護法による新たなスキーム（イメージ）

①地域における文化財の総合的な保存・活用



策定の効果

- 本市の解決を優先すべき課題の洗い出しと取組みの順を明らかにする。
- 地域遺産の確実な保存と戦略的な活用を計画的かつ着実に進める。



スポーツサポートプログラム(1280 スポーツ活動推進事業)

事業費 91,039 千円のうち 699 千円

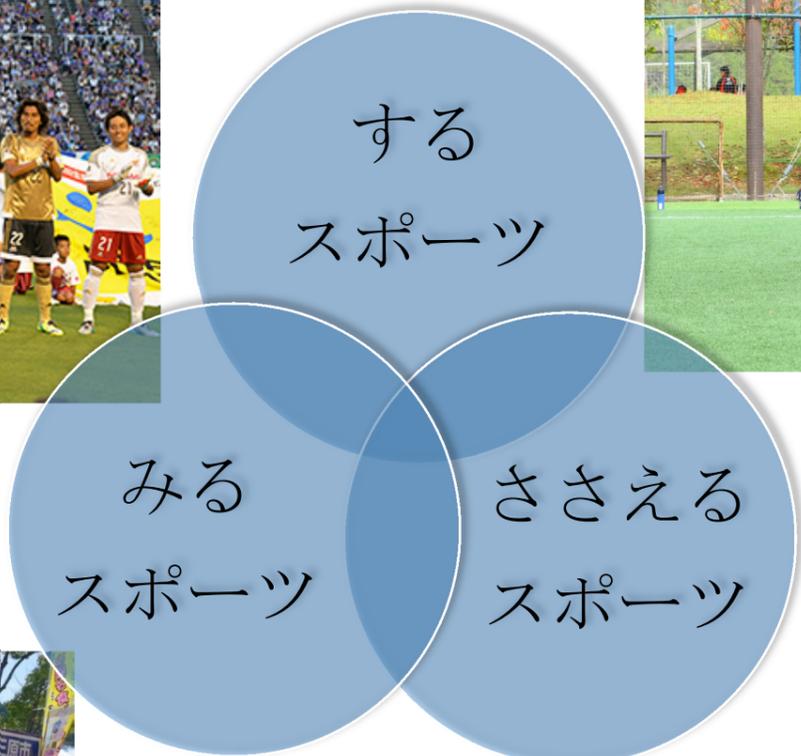
●スポーツイベントで、市民がスポーツに触れる機会の拡充を図る / ●「する・みる・ささえる」など多様なスポーツの親しみ方を提供する



サンフレッチェ広島が有するコンテンツ【ホームタウン活動】を活用して「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進を図る

■ 事業日程

- 5月 参加者募集 (広報等実施)
- 6月 プレミーティング
 - ・参加者顔合わせ
- 8月 キックオフミーティング
 - ・サポートスタッフ経験者による講演会
- 9月 サポート見学・試合観戦
 - ・ボランティアスタッフの見学
 - ・プロスポーツの試合観戦
サンフレッチェ広島 VS 横浜Fマリノス
- 10月 ハーフタイムミーティング
 - ・今までのふりかえり
- 11月 サポートスタッフトレーニング
 - ・児童・生徒対象のサッカー教室開催
 - ・サッカー教室でのボランティア体験
- 12月 レビューミーティング
 - ・活動のふりかえり (アンケート実施)



- ★ スポーツボランティアの育成
- ★ 大規模スポーツ大会の誘致の基盤づくり

する・みる・ささえるスポーツによる目指す姿

身近で多様なスポーツ活動を通じ心身ともに健やかで活力に満ちたまちづくり